

## 2025年度 ニチキッズ郡山とみた保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月26日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念の基、保育の基礎を大切にし、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、丁寧な保育を心がけた。また、保育の質向上のため、園内研修での学びを深め、職員の意見交換を行い、共通理解を図った。
子どもの発達援助	子どもの発達に配慮した環境作りを、職員全体で話し合い行った。子どもたちの主体性を大切にしたい、保育環境の整備が今後の課題である。整備が課題であるため、今後は子どもの発達に合わせ、設置玩具を子どもの視点で遊びたくなる、取り出しやすい場所へ玩具を配置していくことを改善していく。
保護者に対する支援	親子で参加できる行事を通して、保護者と一緒に、子どもの成長を喜び合うことができた。子育てに悩んでいる保護者には、個別に対応し、1人ひとりに寄り添った支援を行なった。
保育を支える組織的基盤	キャリアアップ研修や園内研修を行い、保育の質向上を図った。職員同士のコミュニケーションを図り、風通しの良い明るい雰囲気を作ることができた。

総評
園の保育理念や保育方針を理解した上で、個々の成長を全職員で情報共有をし、子ども一人ひとりに寄り添い安心した環境の中で保育に取り組んできた。保護者参加の行事や送迎時や連絡帳などで、子どもたちの日頃の様子や取り組みをこまめに伝えることができ、安心して園生活が送れるよう、信頼関係を深めた。次年度に向けては、子どもが自分で自分を成長させられるような環境設定の難しさを課題としている。園内外の研修や職員会議、15分MTGなどで共通理解を持ち、活動内容の展開の工夫や探索意欲をそそる魅力的な素材・空間を整えていくことを改善していく。